

2015年11月



和歌山大学国際教育研究センター ニュースレター

10月受入の留学生の状況です

和歌山大学では、新たに**25名**の留学生をお迎えし、**10月**の留学生総数は**186名**となりました。出身国は、中国**13名**、フランス**6名**、ベトナム**2名**、インドネシア、ウズベキスタン、オーストラリア、オーストリアと多様です。**10月22日**に新入留学生の歓迎会を行い、地域のボランティアの方々、在学生たちもおおぜい参加くださり、とてもにぎやかな楽しい雰囲気で行われました。



左からウズベキスタン、フランス、ベトナム(2名)からの留学生と瀧学長(左から二人目)



ボランティアの方々、日本人学生たちも会を盛り上げてくださいました。

和歌山大学の新規交流協定校

和歌山大学は、**2015年6月**にスペインのサンチャゴ・デ・コンポテラ大学と大学間交流協定を締結しました。たいへん歴史のあるサンチャゴ・デ・コンポステラ大学はガリシア州の州都にあり、同大学との連携で、「熊野古道」のある和歌山県と、「サン

チャゴの道」のあるガリシア州との巡礼道を通じた姉妹関係もますます発展することが期待され、今後、交換留学や教員の交流が活発に行われることでしょう。



留学生の日本文化体験「狂言ワークショップ」のご紹介

11月4日、「JAPAN STUDY」でご講義をいただいている大蔵流狂言善竹会の善竹隆司先生をはじめ、善竹会の方々にお越しいただき、留学生と日本人学生の希望者に、「狂言ワークショップ」を行っていただきました。当日は、教室をきれいにそうじし、舞台のように準備することから始まりました。善竹隆司先生、弟



お二人の先生方に続いてせりふの発声

さんの善竹隆平先生の息の合った「附子」(ぶす)で笑ったあと、実際に狂言の所作(しよさ)をお二人から教えていただきました。

発声、腰の落とし方、足の運び方、そして笑い方。日ごろ大きな声を出したり、笑ったりといったことが少ない毎日ですが、この日は、全員



雷が鳴る様子の表現にチャレンジしました

で、いままでに出したことのないような大きな笑い声をあげて、気持ちまで軽くなったようでした。ユネスコの第1回世界無形遺産認定である「能・狂言」、この日本の大切な伝統芸能を身近に感じて、守り継いでいくことの大切さを考える機会にもなりました。お忙しい中、貴重な体験をさせていただきました善竹会の皆様にご感謝申し上げます。

留学生見学旅行を行いました

11月28日、12ヶ国からの留学生39名、日本人学生2名、及びIERからの引率者2名、総勢43名で日帰りバス旅行に行ってきました。当日は晴天に恵まれ、白い姫路城が青空に映えて、とても綺麗に見えました。その後、書写山に移動し、ロープウェイで山上まで登り、圓教寺に参りました。



姫路城の前で全員集合写真

留学生たちは、紅葉やお寺の菩薩等に興味を示し、各自写真を撮ったり説明を読んだりして、終始笑い声が絶えない旅でした。



書写山圓教寺摩尼殿の下で

IERの新メンバーのご紹介です



ウズベキスタン(左)とフランス(右)からの留学生とジェイコブソンさん

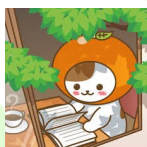
2015年7月、IERのメンバーとなりましたジェイコブソン久美子(くみこ)さんです。

和歌山ご出身のジェイコブソンさんは、カナダ留学中に知り合ったカイルさんと結婚され、一昨年からは和歌山に在住されることとなりました。特に欧米圏の留学生のサポート、留学を希望される学生の相談相手を親身になってしてくれています。とても明るいジェイコブソンさんの笑い声がIERを明るくしてくれています。



編集後記

日本語と英語版で発行するニュースレター第3号、いかがでしたでしょうか。和歌山大学での留学生の様子について少しでもイメージが膨らみますと幸いです。帰国された留学生の方々からのアド



バイスや、皆様の近況をお寄せいただきましたら、ぜひニュースレターでもご紹介させていただきます。皆様からのご連絡をIER教職員一同、お待ちしております！

御礼

発行にあたり、今回も経済学部19期ご卒業の安藤敏昭様に英文翻訳のご協力をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。



和歌山大学 国際教育研究センター